

日刊 労千葉

84. 11. 5

No. 1784

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二(22)七一〇七

秋晴れの下、DCパワー躍動

館山支部みごとV2優勝かざる

千葉転一準優勝、第三位は新小岩

どんより曇つてハラハラさせた前日のグズつき天気とまるでうつて変り、スカッと晴れ上った絶好の秋日和り。八時、サークル協役員を先頭に、五周年記念実行委員、各支部からの祭典準備委員が会場に集合、ときばきと飾りつけ、設営の準備が始まる。本部テントが建ち、各支部観客席ができ、にぎやかな声がとびかう中に各支部目いっぱいに趣向をこらした「模擬店」ができ上っていく。

「産直」「手づくり」「無公害」…
趣向こらした「模擬店」大好評！



エットト闘争勝利！
ジ塚里組合員・家族六四〇名が参加
九時少し前、組合員・家族がぞくぞく
三とつめかけ、ゲート脇の受付に列ができる
る。一声高いチビッ子たちにぎわいで
グランードは一気に祭典ムードに。

九時半、加藤岡スタートーの号砲一発、
入場行進がスタート。行進曲につけてサ
ークル協旗が進む。行進の先頭は、優勝
旗を掲げた昨年度優勝チームの館山支部、
行全支部がそれに続く。

篠塚祭典実行委員長の開会宣言で始ま
り、優勝旗返還に続いて、「国鉄攻撃の
臨厳しい中でこそ、今日のような組合員・
家族の固い団結は一層重要。確信をもつ
て『60・3』合理化に立ちむかおう」と
中野委員長があいさつ。来賓を代表して
三里塚芝山連合空港反対同盟の北原事務
局長、中江船橋市議からあいさつを受け、
藤浪選手（館山）の選手宣誓、祭典事務
局・林特執、篠塚特執から各々注意事項、
準備体操の指導をうけたのち、号砲（：
・といつてもピストル・）合図に手に
した風船を全員一斉に空に放つ。雲一つ
ない青空に色とりどりの風船がゆれながら
さあいよいよ競技開始だ。



「5周年」にふさわしい大成功！

子供も大人も、組合員も家族も一緒に
準備体操の指導をうけたのち、号砲（：
・といつてもピストル・）合図に手に
した風船を全員一斉に空に放つ。雲一つ
ない青空に色とりどりの風船がゆれながら
さあいよいよ競技開始だ。

「無公害石けん」「静岡のお茶」「木更
津のり」、それに長野県の支援の仲間
の協力を得ての「信州リング」の産直販
売——にも人気が集まる。一番の人気を
さらつたのは成田支部の「つきたてのお
もち」屋さん。昼休みには祭はんてんに
ねじりはしまきでめずらしいペッタンお
もちつきの実演に、チビッ子も人だから
でかけ声かけ合わせてヤンヤのかつさい。
つきたてのおもちはその場でおしるこ。
ぞうに無料サービスに大よろこび…。

そして、今年もまた反対同盟から立派
な野菜がどっさりと寄贈され、お母さん
たちの顔もほころびっぱなし。

このあと恒例の「抽せん会」に会場が
わきかえり、中野委員長があいさつと講
評、水野副委員長の閉会のことば、布施
書記長の團結ガンバローをもつて六四〇
名の組合員・家族が集い合つた「結成5
周年記念（第6回）團結祭典」は、無事大
成功のうちに終了した。